TADOKU JUNIOR　せかいのなぜなに神話　★★★☆☆ ふつう　404語

The Story of the Bees and the Flies

ミツバチとハエのおはなし

Florence Holbrook（1902年の本）　原文そのまま　朗読：Kathleen Moore

人の声の朗読
を聞く・Web版

どんなおはなし？　はたらき者の小人たちと、遊んでばかりの小人たち。冬にはみつをわけてもらえたなまけ者たちでしたが、次の夏、はたらき者たちがひっこしてしまって……。

There were once two tribes of little people who lived near together. They were not at all alike, for one of the tribes looked for food and carried it away to put it up safely for winter, while the other played and sang and danced all day long.

"Come and play with us," said the lazy people, but the busy workers answered, "No, come and work with us. Winter will soon be here. Snow and ice will be everywhere, and if we do not put up food now we shall have none for the cold, stormy days."

So the busy people brought honey from the flowers, but the lazy people kept on playing. They laughed together and whispered to one another, "See those busy workers! They will have food for two tribes, and they will give us some. Let us go and dance."

While the summer lasted, one tribe worked and the other played. When winter came, the busy workers were sorry for their friends and said, "Let us give them some of our honey." So the people who played had as much food as if they, too, had brought honey from the flowers.

Another summer was coming, and the workers said, "If we should make our home near the lilies that give us honey, it would be easier to get our food." So the workers flew away, but the lazy people played and danced as they had done before while their friends were near, for they thought, "Oh, they will come back and bring us some honey."

By and by the cold came, but the lazy people had nothing to eat, and the workers did not come with food. The manito had said to them, "Dear little workers, you shall no longer walk from flower to flower. I will give you wings, and you shall be bees. Whenever men hear a gentle humming, they will say, 'Those are the busy bees, and their wings were given them because they were wise and good.'"



To the other tribe the manito said, "You shall be flies, and you, too, shall have wings; but while the workers fly from flower to flower and eat the yellow honey, you shall have for your food only what has been thrown away. When men hear your buzzing, they will say, 'It is good that the flies have wings, because we can drive them away from us the more quickly.'"

むかし、2つの小人の村が、すぐ近くにならんでいました。むかし、2つの小人のなかまが、たがいに近くにすんでいました。

2つの小人のなかまはちっともにていませんでした。一方のなかまは食べものをさがして運び、冬にそなえて大切にしまっておきましたが、もう一方のなかまは、1日じゅう遊んだり歌ったりおどったりしていたのです。もうすぐ冬が来るよ。雪や氷でいっぱいになるから、今食べものをしまっておかないと、さむいあらしの日に食べるものがなくなってしまうよ。」

そこではたらき者の小人たちは花からみつを運んできましたが、なまけ者の小人たちは遊びつづけました。なまけ者たちはいっしょにわらって、こっそり言いあいました。「見てごらん、あのはたらき者たち！2つの村の分くらい食べものをためるだろうから、わたしたちにも少しわけてくれるさ。2つのなかまの分くらい食べものをためるだろうから、わたしたちにも少しわけてくれるさ。

夏のあいだずっと、一方の村ははたらき、もう一方の村は遊んでいました。夏のあいだずっと、一方のなかまははたらき、もう一方のなかまは遊んでいました。それで、遊んでいた小人たちも、自分たちで花からみつを運んできたのと同じくらい、たくさんの食べものをもらいました。

また夏がやってこようとしていました。はたらき者の小人たちは言いました。「みつをくれるユリの花の近くに家をつくれば、食べものを集めるのがもっと楽になるね。」そこではたらき者の小人たちはとんでいってしまいましたが、なまけ者の小人たちは、友だちが近くにいたころと同じように遊んだりおどったりしていました。「なあに、またもどってきて、みつをもってきてくれるさ」と思っていたのです。

やがてさむさがやってきましたが、なまけ者の小人たちには食べるものが何もなく、はたらき者たちも食べものをもってきてはくれませんでした。マニトがはたらき者たちに、こう言っていたのです。「かわいいはたらき者たちよ、もう花から花へ歩いていかなくてもよい。はねをあげよう。おまえたちはミツバチになるのだ。人間はやさしいブーンという音を聞くたびに、こう言うだろう。『あれははたらき者のミツバチだ。かしこくてよい子だったから、はねをもらったんだよ』とね。」

もう一方の村の小人たちには、マニトはこう言いました。「おまえたちはハエになるのだ。おまえたちにもはねをあげよう。でも、はたらき者たちが花から花へとんで黄色いみつを食べるあいだ、おまえたちは、すてられたものしか食べられない。もう一方のなかまには、マニトはこう言いました。「おまえたちはハエになるのだ。おまえたちにもはねをあげよう。でも、はたらき者たちが花から花へとんで黄色いみつを食べるあいだ、おまえたちは、すてられたものしか食べられない。

たんご と クイズ　ミツバチとハエのおはなし

winter 冬	**ice** 氷	**honey** みつ
flowers 花	**lilies** ユリ	**wings** はね
bees ミツバチ	**flies** ハエ	

Q1 **はたらき者の小人たちは、花から何を運んできた？**

① みつ　② 花びら　③ 種

Q2 **なまけ者の小人たちが、またみつをもらえると思っていたのはどうして？**

① マニトがやくそくしたから　② はたらき者たちがもどってくると思ったから

③ 花がたくさんさいていたから

Q3 **なまけ者の小人たちは、何になった？**

① チョウ　② ミツバチ　③ ハエ

こたえ

Q1　①　はたらき者の小人たちは、冬にそなえて花からみつを運んできて、大切にしまっておきました。

Q2　②　なまけ者たちは「またもどってきて、みつをもってきてくれるさ」と思って、遊びつづけていたのです。

Q3　③　マニトはなまけ者の小人たちをハエにして、すてられたものしか食べられないようにしました。

原田英語の多読ベストジュニア

本物の英語の絵本 1,000話以上を、原文・人の声の朗読・和訳つきで。ゲーム・なぞなぞも。ぜんぶ無料・登録なし。

haradaeigo.com/tadokubestjr/

出典　英文：原文そのまま（1語も書きかえていません）。Project Gutenberg 電子書籍 #22420（Florence Holbrook、1902年）。パブリックドメイン。
挿絵：(1902 edition)（同じ本の初版の挿絵。パブリックドメイン）
朗読（Web版）：Kathleen Moore（LibriVox のボランティア。パブリックドメイン）
和訳・クイズ：AIと人が作成。AIは３重チェック。人の目でも順次確認しています。